

# 「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」大賞に鈴木環境建設、住まいのウチイケ、泉北ホーム

2019年3月4日



日本地域開発センター（東京都港区）は2月28日、建物躯体とエネルギー設備機器をセットとして、トータルで省エネルギー性能の優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の2018年の受賞者を決定した。大賞を受賞したシリーズは、鈴木環境建設（宮城県石巻市）の「both eco+」、住まいのウチイケ（北海道室蘭市）の「eco-house standard」、泉北ホーム（堺市）の「フル装備の家（オール電化）」の3件。

その他、特別優秀賞68件、優秀賞144件、特別優秀企業賞48件、優秀企業賞51件、審査委員賞3件が選ばれた。

住宅ビジネスに関する情報は「新建ハウジング」で。試読・購読の申し込みは[こちら](#)。